

タスクスケジューラを使用した自動実行

手順

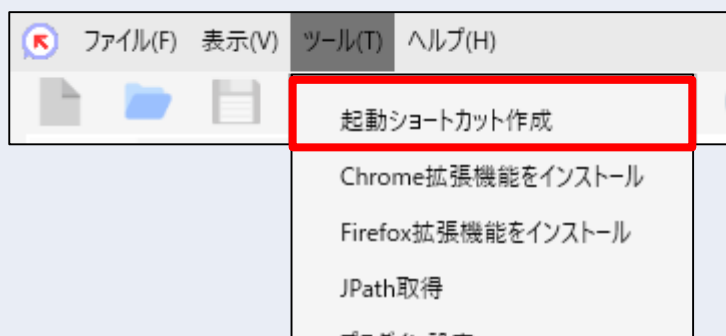
- ①シナリオ作成
- ②シナリオ保存
- ③起動ショートカットの作成
- ④タスクスケジューラに登録

起動ショートカット作成方法

起動ショートカット作成方法1

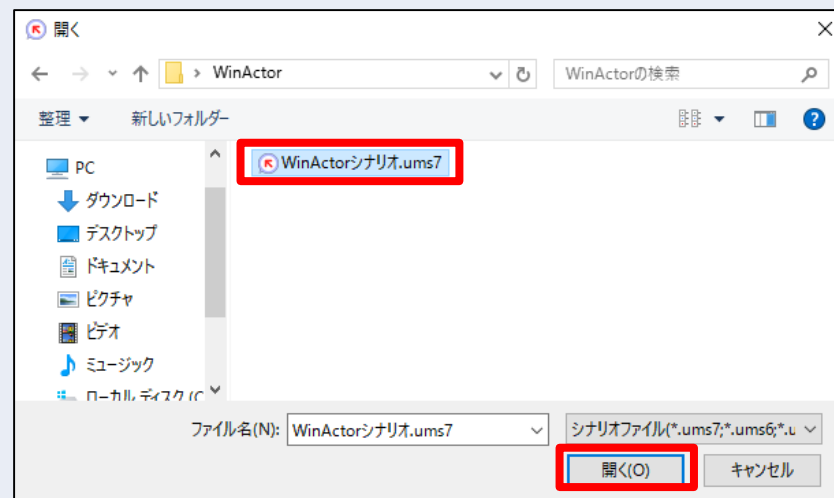
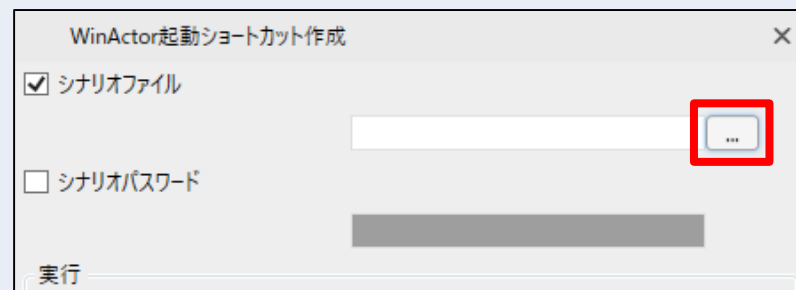
起動ショートカット作成手順1

- ①メニューバー「ツール」>「起動ショートカット作成」を選択します。



「起動ショートカット」を作成したいシナリオファイルは
予め保存しておく必要があります。

- ②「シナリオファイル」から起動ショートカットを作成したいシナリオを選択します。
シナリオのフルパスを直接入力することも可能です。



起動ショートカット作成方法2

起動ショートカット作成手順2

③必要に応じて以下項目をそれぞれ設定します。

☐ シナリオパスワード

実行
☐ 起動後に実行
☐ 実行完了後に終了

データ一覧
☐ 起動時にデータインポートの実行

☒ csv、Excelファイル

☐ 実行完了時にデータ一覧上書き保存

☒ データ一覧上書き保存
☐ データ一覧名前付保存

☐ DB連携

データソース名
テーブル名
☐ ユーザ名、パスワードを
ユーザ名
パスワード

タスクトレイ
☐ タスクトレイに常駐

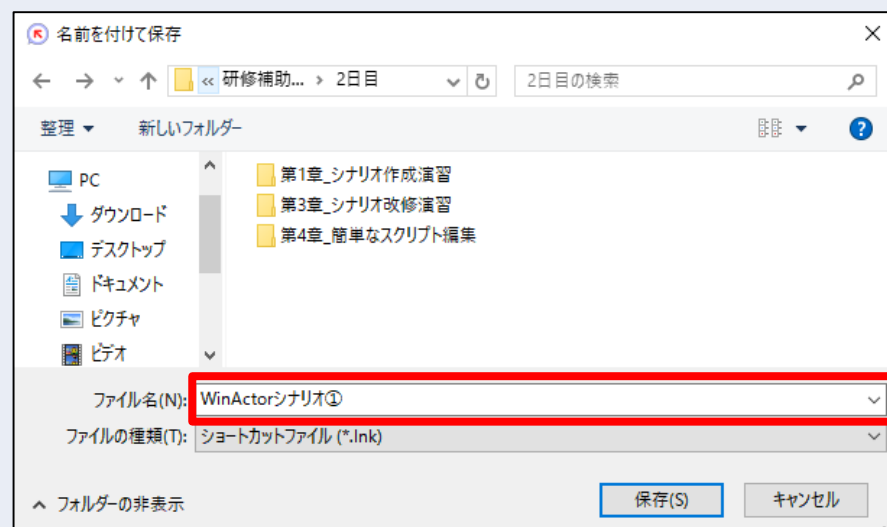
項目	内容	起動オプション
シナリオパスワード	シナリオにパスワードが設定されている場合はチェックを入れ、パスワードを入力します。	-s
起動後に実行	ショートカット起動後、シナリオを自動実行する場合にチェックを入れます。 (タスクスケジューラでの自動実行の場合は、必ずチェックを入れます)	-r
実行完了後に終了	シナリオの実行完了後、自動でWinActorを閉じたい場合にチェックを入れます。	-e
起動時にデータインポートの実行	データ一覧機能を使用したり、DB連携を行っている場合は、チェックを入れ、使用しているファイルを指定します。	-d 等
タスクトレイに常駐	WinActorをタスクトレイに格納した状態で起動したい場合にチェックを入れます。	-t

その他コマンドオプションについては、「WinActor_操作マニュアル」の「2.1.3 WinActorの起動オプション」をご参照ください。

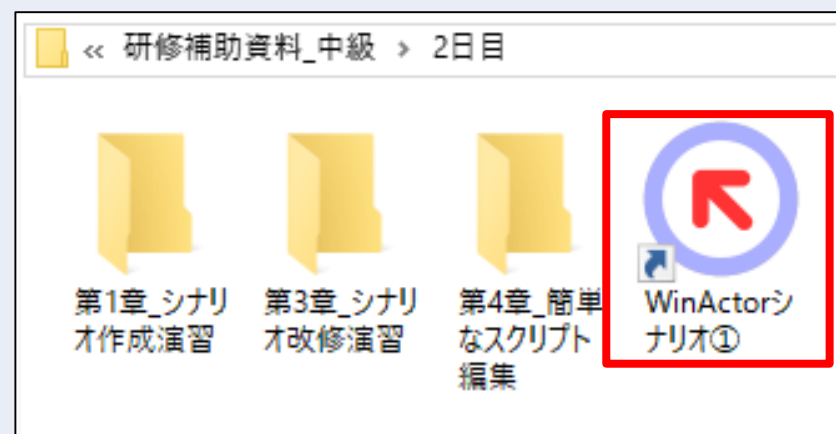
起動ショートカット作成方法3

起動ショートカット作成手順3

④「作成」をクリックし、「ショートカットの保存先」と「名前」を指定し保存します。



⑤フォルダ内にシナリオのショートカットが作成されていることを確認します。

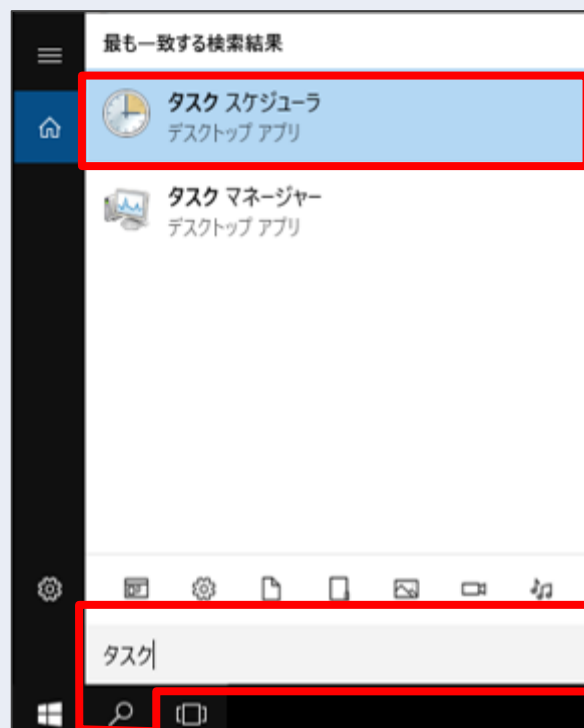


タスクスケジューラの設定方法

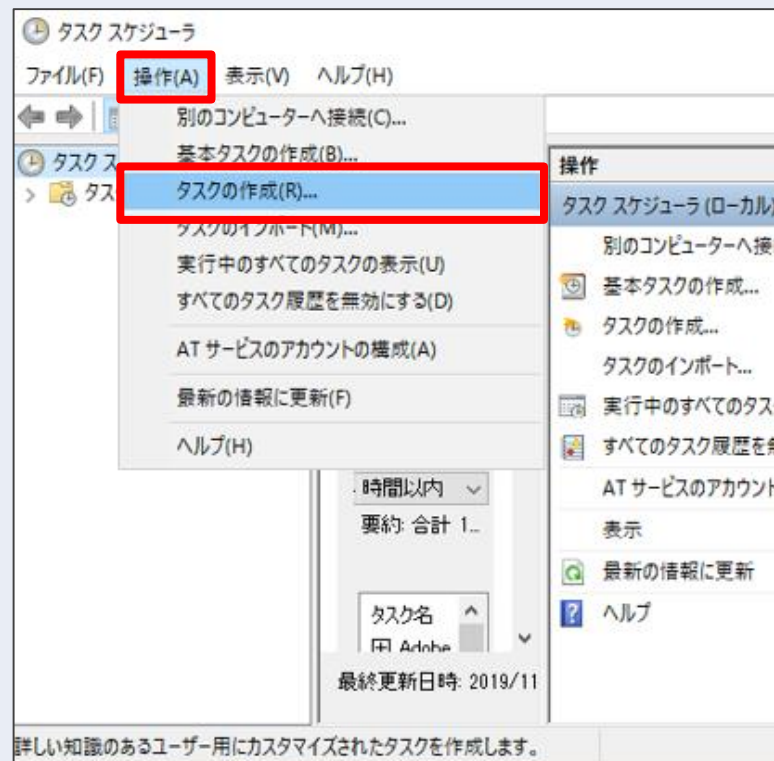
タスクスケジューラの設定方法1

タスクスケジューラ設定手順1

- ① Windowsのタスクスケジューラを起動します。
(検索ウィンドウで「タスク」と入力し、「タスクスケジューラ」をクリックします)



- ② 「操作」>「タスクの作成」を選択します。



タスクスケジューラの設定方法2

タスクスケジューラ設定手順2

- ③タスクの「名前」を入力します。
「最上位の特権で実行する」にチェックを入れます。

タスクの作成

全般 トリガー 操作 条件 設定

名前(M):

場所:

作成者:

説明(D):

セキュリティ オプション

タスクの実行時に使うユーザー アカウント:

ユーザーまたはグループの変更(U)...

☒ ユーザーがログオンしているときのみ実行する(R)

☐ ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する(W)

☐ パスワードを保存しない(P) (タスクがアクセスできるのはローカル コンピューター リソースのみ)

☒ 最上位の特権で実行する(I)

☐ 表示しない(E) 構成(C): Windows Vista™, Windows Server™ 2008

OK キャンセル

「最上位の特権で実行する」にチェックが入っていないと、
実行権限がないユーザ指定をしたり、バッチ/スクリプトの内容によっ
てはタスク実行されない場合があるので必ずチェックを入れてください。

- ④「トリガー」タブ内の「新規」を選択し、新しいトリガーを設定
します。

タスクの作成

全般 **トリガー** 操作 条件 設定

タスクの作成時に、タスクのトリガー条件を指定できます。

トリガー	詳細
------	----

新規(N)... 編集(E)... 削除(D)

OK キャンセル

タスクスケジューラの設定方法3

タスクスケジューラ設定手順3

⑤「新しいトリガー」の設定を行い、「OK」をクリックし閉じます。

新しいトリガー

タスクの開始(G): スケジュールに従う

設定

☐ 1回(N)

☐ 毎日(D)

☒ 毎週(W)

☐ 毎月(M)

開始(S): 2019/12/01 10:00:00 ☐ タイムゾーン間で同期(Z)

間隔(C): 1 週間ごとの次の曜日:

☐ 日曜日(U) ☒ 月曜日(A) ☐ 火曜日(T) ☐ 水曜日(Y)

☐ 木曜日(H) ☐ 金曜日(F) ☐ 土曜日(R)

詳細設定

☐ 遅延時間を指定する(ランダム)(K): 1時間

☐ 繰り返し間隔(P): 1時間 継続時間(F): 1日間

☐ 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する(I)

☐ 停止するまでの時間(L): 3日間

☐ 有効期限(X): 2020/11/27 13:50:37 ☐ タイムゾーン間で同期(E)

☒ 有効(B)

OK キャンセル

⑥「操作」タブ内の「新規」を選択し、新しい操作を設定します。

タスクの作成

全般 トリガー 操作 条件 設定

タスクを作成する場合、タスクの開始時に発生する操作を指定する必要があります。

操作 詳細

新規(N)... 編集(E)... 削除(D)

OK キャンセル

タスクスケジューラの設定方法4

タスクスケジューラ設定手順4

- ⑤「参照」ボタンから実行したいシナリオの起動ショートカットを指定します。

※起動ショートカットのファイルパスではなく、
WinActor.exeのファイルパスが設定されます。

新しい操作

このタスクで実行する操作を指定してください。

操作(O): プログラムの開始

設定

プログラム/スクリプト(P):
C:\Users\%Desktop%\WinActor7\WinActor7.exe

参照(R)...

引数の追加 (オプション)(A):

開始 (オプション)(T):

- ⑥「引数の追加」を入力します。
起動ショートカットのプロパティ内「リンク先」の
WinActor.exeより後ろをコピーし、「引数の追加欄」に
ペーストします。
「OK」をクリックし、閉じます。

WinActorシナリオ①のプロパティ

全般 ショートカット 互換性 セキュリティ 詳細 以前のバージョン

WinActorシナリオ①

種類: アプリケーション

場所: WinActor7

リンク先(T): sktop%WinActor7\WinActor7.exe -f "C:\Users\%Desktop%

新しい操作

このタスクで実行する操作を指定してください。

操作(O): プログラムの開始

設定

プログラム/スクリプト(P): C:\Users\%Desktop%\WinActor7\WinActor7.exe

参照(R)...

引数の追加 (オプション)(A): -f "C:\Users\%Desktop%\WinActor7\WinActor7.exe

起動オプションの設定

